

館山日東バス「市内線」(なむや・小浜～船形～イオン～館山駅～航空隊)の 廃止申出に係る対応について

○廃止の経緯等について

- ・館山日東バスから千葉県バス対策協議会に対し、令和元年6月4日付けで令和2年3月31日で路線を廃止したい旨の申出がなされる。
※事務局(6.11付県交通計画課)より協議の申出が当市企画財政課長宛にあり
- ・国・県補助を受けているものの、600万円超の赤字を会社が負担しており、会社全体の収益が赤字に転落している中、業績の圧迫要因になっているというのが大きな理由である。
- ・「廃止申出」がなされたものの、2市が上記の赤字幅を負担すれば運行を存続したいという状況である。
- ・地域公共交通確保維持改善事業費補助金として、国及び県より受けている。
※千葉県バス対策協議：バス路線を中心とした生活交通の維持・確保を図るため、地域の実情に応じた具体的な方策を協議する機関

○上記を受けての南房総市の方針案

「南房総市及び館山市で追加補助を行い、運行を存続させる」

【上記の理由】

- ・市内線は南無谷より船形・那古を経由し、イオンタウン館山に乗り入れており、買物のアクセス路線として重要な役割を果たしている。館山市内においても人口の集中している地域を運行するなど、基幹路線である。
- ※但し、現状のままでは更なる収益の悪化が見込まれるため、増収・増客に向けて行政・事業者がニーズ調査(平日及び週末の乗降調査)や他路線との再編も見据えた路線の見直し等を行い、収益の改善に取り組む。
- ※各論については、今後三者(本市、館山市、館山日東バス)で詰める。
- ※館山市においても、追加補助を行いながら運行を存続させる意向で、内部調整を図っている。

○今後の進め方

- ・7月26日：市長・副市長説明(大まかな方針の確認)
- ・7月31日：館山市公共交通会議で状況報告
- ・8月5日：当市交通活性化協議会で状況報告
- ・8月中下旬：県バス対策協議会(2市の方針を踏まえた協議)
- ・10月頃：最終結論
- ・その後：各論の詰め等を実施し、必要に応じ路線の見直しを進める

○数値情報

【直近年度（平成 29 年 10 月～平成 30 年 9 月）の実績】

- ・運行回数：平日 13.5 往復、土日 10 往復（全日平均 12.3 往復）
- ・年間輸送人員：約 11 万人
- ・1 日当たり輸送人員：約 300 人（1 便当たり約 12 人利用）
- ・平均乗車密度：3.2 人
- ・輸送量：39.3 人
- ・経常収益（国・県補助金含む）：26,548 千円

※国・県補助：合計 6,014 千円

- ・経常費用：33,283 千円
 - ・赤字額：6,735 千円
- （収支率 79.8%）

（参考）富浦小学校児童利用者数
南無谷～16 名（小浜 1 名）
富浦学園～9 名

○その他

- ・JR バスからは、館山駅～宮城の重複区間を 2 社で調整し、共に生き残れるような方策を検討していきたい旨の申し出がなされている。
- ・市営路線バス（富浦線）との接続及びルートも検討課題の一つとなる。
- ・平成 15 年度より「南無谷～小浜間（8.5 往復/日）」については、路線バス運行費損失補填運行契約を締結している（R 元年度委託費 918,000 円）

南房総市地域公共交通マップの更新について

平成27年度に作成したマップについて、路線変更や在庫減少に伴い一部更新して作成いたします。

予定部数：5,000部

主な修正について：路線バスの乗り方・降り方ページについて、他のマップを参考に簡略化しわかりやすさを求めます。そのた、廃止や統合したバス路線を中心に修正いたします。

